

平成 21 年度事業報告

(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

平成 21 年 4 月 1 日から平成 22 年 3 月 31 日にいたる平成 21 年度の事業活動は、平成 21 年 2 月 1 日(金)開催の第 41 回理事会・評議員会で審議決裁された平成 21 年度事業計画に基づき、寄附行為に掲げるバイオサイエンス分野の研究者に対する助成及び学会等の開催助成などの諸事業を行った。

1. 年間の経緯 (平成 21 年 4 月～平成 22 年 3 月)

平成 21 年

- 4 月 6 日 平成 21 年度事業計画及び収支予算書提出(文部科学省)
- 4 月 21 日 第 21 回国際交流助成(前期)選考会 於：KKRホテル
- 4 月 20 日 役員変更登記
- 4 月 22 日 国と密接な関係にある特例民法法人に該当しないことを公表
- 5 月 18 日 会計及び業務監査
- 6 月 5 日 第 42 回理事会・評議員会 於：如水会館
①平成 20 年度事業状況報告書及び収支決算報告、②平成 21 年度研究助成募集要項の改訂、③学会等開催助成の募集・選考方法の改訂
- 6 月 25 日 平成 20 年度事業状況報告書提出(文部科学省)
- 8 月 31 日 第 21 回研究助成及び第 21 回国際交流助成(後期)募集締切
- 9 月 15 日 第 21 回国際交流助成(後期)選考会 於：KKRホテル
- 10 月 1 日 財団 20 周年記念誌「20 年のあゆみ」及び財団年報第 10 号(平成 20 年度)刊行
- 10 月 31 日 学会等開催助成募集締切
- 12 月 3 日 第 21 回研究助成選考委員会
第 20 回学会等開催助成選考会 於：如水会館
- 12 月 14 日 特定公益増進法人更新証明取得(文部科学省)
- 12 月 16 日 選考委員アンケート実施

平成 22 年

- 2 月 5 日 第 43 回理事会・評議員会 於：如水会館
①第 21 回研究助成対象者の選出、②第 21 回学会等開催助成対象者の選出、③平成 22～25 年度選考委員の選出、④平成 22 年度事業計画及び収支予算、⑤最初の評議員の選任方法及び運営規則
- 3 月 5 日 第 21 回研究助成贈呈式 於：如水会館

- 3月15日 「最初の評議員の選任に関する定めについて」認可申請
(文部科学省)
- 3月24日 平成22年度事業計画・予算書提出 (文部科学省)
- 3月30日 第22回国際交流助成(前期)選考会 於：KKRホテル東京

2. 助成事業

平成21年度助成事業のまとめ

事業名	応募件数	助成件数	採択率 (%)	予算総額 (万円)	実績 (万円)
研究助成	251	25	10.0	5,000	5,000
「研究助成」メディカルサイエンス分野	148	10	6.8	2,000	2,000
「研究助成」バイオテクノロジー分野	80	10	12.5	2,000	2,000
「指定研究助成」	23	5	21.7	1,000	1,000
国際交流助成	63	28	44.4	750	705
(前期)	20	10	50.0	-	280
(後期)	43	18	41.9	-	425
学会等の開催助成	15	10	66.7	200	200

(1) 第21回(2009年度)研究助成

①「研究助成」メディカルサイエンス分野、②「研究助成」バイオテクノロジー分野、③「指定研究助成」(癌分野における基礎から臨床への橋渡し研究)に区分して募集した。なお今年から学部毎への募集要項配布を中止し、大学や研究機関本部に募集要項を送付し、学内等のルートを通しての広報を依頼した。

平成21年6月～8月末の期間募集した結果、全国の研究機関から、①「研究助成」メディカルサイエンス分野は148件(昨年度89件)、②「研究助成」バイオテクノロジー分野は80件(同87件)、③「指定研究助成」は23件(同35件)の合計251件(同217件)の応募があった。そのうち女性研究者は57件(同43件)であった。

全選考委員(20名)による事前の一次審査をふまえ、選考委員会は平成21年12月3日(木)に如水会館にて、選考委員16名出席で開催された。最初に他財団との重複助成に対する考え方を整理し、「有望な若手研究者を幅広く支援する」という財団方針に則り、当財団の助成額を上回る助成金を本年度他財団から受けることが確定している候補者は、高評価であっても選外とする事が確認された。

その結果、①「研究助成」メディカルサイエンス分野10名、②「研究助成」バイオテクノロジー分野10名、③「指定研究助成」5名の候補者25名が選出された。

平成22年2月5日（金）に開催された第43回理事会・評議員会で、選考委員会答申のとおり、助成対象者合計25名が決定された。

平成22年3月5日（金）に如水会館で開催した贈呈式において、1件当たり200万円の助成金目録及び記念の盾を贈呈した。

第21回加藤記念研究助成受領者名簿

1) 「研究助成」メディカルサイエンス分野（10名）

（1件200万円）

氏名	所属機関名	職名	研究題目
石井 清朗	筑波大学大学院人間総合科学研究科 疾患制御医学専攻代謝・糖尿病内科	助教	海馬における内因性カンナビノイドと脂肪酸伸長酵素の役割
石原 直忠	東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科細胞生理学分野	講師	発生・分化時のミトコンドリア形態変化とその生理的役割に関する研究
大塚 稔久	山梨大学大学院医学工学総合研究部 生化学講座第一教室	教授	神経終末アクティブゾーンにおけるリン酸化ネットワークとその役割
大森 義裕	大阪バイオサイエンス研究所 発生生物学部門	副部長	繊毛関連疾患モデル動物における繊毛長制御機構の解明
竹内 純	東京大学分子細胞生物学研究所 高次機能研究分野	准教授	心臓構成細胞誘導メカニズムにおける研究
竹本一木村 さやか	東京大学大学院医学系研究科 脳神経医学専攻神経生化学教室	助教	GABA 依存的 CaMKK-CaMKI α カスケードによる神経回路形成促進
花房 洋	名古屋大学大学院理学研究科 生命理学専攻生体応答論講座	助教	新規 MAPKKK 様キナーゼ LRRK1 による EGFR 細胞内トラフィック制御
本田 賢也	東京大学大学院医学系研究科 免疫学講座	准教授	消化管常在細菌群の免疫系への影響による細分化とその応用
松田 七美	早稲田大学 理工学術院 先進理工学部生命医科学科	講師	細胞競合に関わるエネルギー代謝の分子機構
水野 大介	九州大学高等研究機構 (理学部物理)	特任准教授	力学刺激により誘起される情報伝達過程を可視化するための人工骨細胞ネットワークの構築

2) 「研究助成」バイオテクノロジー分野（10名）

（1件200万円）

氏名	所属機関名	職名	研究題目
尾仲 宏康	富山県立大学工学部 生物工学研究センター	講師	放線菌由来インドロカルバゾール抗がん物質の生合成に関する研究

小松 護	北里大学北里生命科学研究所 微生物制御工学研究室	研究員	産業利用放線菌を宿主とした 有用物質生産系の構築
末永 聖武	慶應義塾大学理工学部 化学科天然物化学研究室	准教授	ビスプロモアミドの合成と生 物活性
鈴木 敦	横浜国立大学 学際プロジェクト研究センター	特任教 員（助 教）	哺乳類生殖細胞形成機構の解 析
關 光	横浜市立大学木原生物学研究所 植物応用ゲノム科学部門	特任准 教授	組み換え酵母を用いたトリテ ルペノイドライブラリー創製 研究
高久 洋暁	新潟薬科大学応用生命科学部 応用微生物・遺伝子工学研究室	准教授	組換え大腸菌によるバイオマ ス由来化学工業原料中間体の 発酵生産
七谷 圭	東北大学大学院工学研究科 バイオ工学専攻応用生物物理化学 分野	助教	微生物による物質生産の効率 化へ向けたアミノ酸輸送体の 輸送活性制御メカニズムの解 明
松下 智直	九州大学大学院農学研究院 SSP 研究室	特任准 教授	植物の光情報受容体フィトク ロムBのN末端領域と相互作用 するシグナル伝達因子の探 索
愿山 郁	奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス研究科	国際リ サーチ フェロ ー	植物における p53 ホモログの 機能解析と環境ストレス耐性 植物への応用
渡辺 賢二	静岡県立大学大学院薬学研究科 生薬・天然物化学研究室	准教授	ものづくりを指向した高機能 性生体触媒の創製

3) 「指定研究助成」癌分野における基礎から臨床への橋渡し研究（5名）

（1件200万円）

氏名	所属機関名	職名	研究題目
石井 直人	東北大学大学院医学系研究科 病理病態学講座免疫学分野	教授	画期的なヒト白血病モデルの 開発とその応用
宇和川 匡	東京慈恵会医科大学 外科学講座	助教	膵臓癌化学療法耐性克服に向 けた基礎的研究

大庭 成喜	東京大学大学院医学研究科 器官病態内科学講座腎臓内科学	助教	血中のmicro RNA測定による腎 癌及び前立腺癌患者の鋭敏か つ簡潔な診断法の確立
小川 数馬	金沢大学医薬保健研究域薬学系 臨床分析科学研究室	准教授	シグマ受容体を標的とした PET 薬剤の開発と包括的癌治 療法の確立を目指した研究
永坂 岳司	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 消化器・腫瘍外科学教室	助教	各消化器腫瘍特異的メチル化 変異をマーカーとした非侵襲 的早期診断技術の開発

(2) 第21回(2009年度)国際交流助成

平成21年度は前期応募者20名より10名、後期応募者43名より18名、合計28名に対し選考会による審査・選考のうえ、合計705万円(前期280万円、後期425万円)を助成した。

1) 第21回加藤記念国際交流助成(前期)受領者名簿

氏名	所属機関名	職名	学会名	開催 場所	助成額 (万円)
岩室 宏一	東京大学大学院医学系 研究科 脳神経医学専攻 脳神経外科	大学 院生	13th International Congress of Parkinson's Disease and Movement Disorders	フランス	30
金井 将昭	大阪大学大学院医学系 研究科 生化学・分子生 物学講座 分子再生医学	特任 研究 員	12th Meeting of the international society for Tryptophan Research (ISTRY)	イタリア	30
金澤 雅人	新潟大学脳研究所 神経内科	大学 院生	American Academy of Neurology, Annual meeting 2009	アメリカ ワシント ン州	20
木村 俊秀	大分大学医学部 薬理学教室	助教	45th European Association for the Study of Diabetes Annual Meeting	オースト リア	30
倉林 伸博	東京大学 大学院理学系 研究科 生物化学専攻	大学 院生	XI. Congress of European Biological Rhythm Society	フランス	30
杉浦 真由美	神戸大学 大学院 理学研究科 生物学専攻	特別 研究 員	XIII International Congress of Protistology	ブラジル	30

竹田 典代	筑波大学大学院 生命科学研究所 下田臨海実験センター	研究員	Developmental Biology of the sea urchin XIX	アメリカ マサチューセ ッツ州	25
中川 正宏	東京大学 大学院医学系 研究所 血液・腫瘍内科 がんプロフェッショナル養成 プラン	特任 助教	“EMBO WORKSHOP” RUNX Transcription Factors in Development & Disease	イギリス	30
柳川 正隆	京都大学 大学院理学研 究科 生物物理学教室 分子生体情報学分野	大学 院生	15th International Congress of Photobiology	ドイツ	30
渡邊 麻衣	東京大学大学院総合文 化研究科 広域科学専攻 生命環境科学系	大学 院生	The 13th International Symposium on Phototrophic Prokaryotes	カナダ ケベック州	25

2) 第20回加藤記念国際交流助成（後期）受領者名簿

氏名	所属機関名	職名	学会名	開催場所	助成額 (万円)
Azran Azhim	東京電機大学 フロンテ ィア共同研究センター	助教	2009 IEEE Symposium on Industrial Electronics and Applications	マレーシア	15
伊藤 陽子	横浜市立大学大学院 国 際総合科学研究科 生体 超分子科学専攻	大学 院生	Gordon Research Conferences, Sensory Transduction in Microorganisms	アメリカ カリフォル ニア州	20
王 晨	山口大学大学院医学系 研究所 応用医工学系 生体機能分子制御学講 座	大学 院生	49th American Society for Cell Biology Annual Meeting	アメリカ カリフォル ニア州	20
大河内 直子	東京大学医学部附属病 院輸血部	助教	The 51st annual meeting of the American Society of Hematology (ASH)	アメリカ ルイジアナ 州	25
片山 貴博	北海道大学 大学院薬学 研究院 薬理学研究室	助教	Neuroscience 2009 (39th annual meeting of Society for Neuroscience)	アメリカ イリノイ州	25
塩田 倫史	東北大学大学院 薬学研 究科 薬理学分野	助手	39th annual meeting of the Society for Neuroscience (Neuroscience 2009)	アメリカ イリノイ州	25

田中 暢明	京大大学生命科学系キャリアパス形成ユニット	特定 研究員	Swiss Neurofly meeting	スイス	30
田中 瑠璃子	京都大学医学部附属病院 輸血細胞治療部	大学 院生	51st American Society of Hematology (ASH) Annual Meeting	アメリカ ルイジアナ 州	25
田村 雄一	慶應義塾大学 医学部 循環器内科/再生医学教室	大学 院生	AHA Scientific Sessions 2009	アメリカ フロリダ州	25
野下 浩二	秋田県立大学 生物資源科学部 生物生産科学科 生物活性物質分野	助教	Fifth Asia Pacific Conference on Chemical Ecology	アメリカ ハワイ州	20
野村 洋	東京大学大学院薬学系 研究科薬品作用学教室	特任 助教	Neuroscience 2009、Eighth Annual M CCS meeting	アメリカ イリノイ州	25
原 哲也	神戸大学大学院 医学研究科 内科学講座 循環器内科学分野	医学 研究員	Scientific Sessions 2009	アメリカ フロリダ州	25
丸山 史人	東京工業大学 大学院 生命理工学研究科 生命情報専攻	助教	4th European Conference on Prokaryotic Genomics (ProkaGENOMICS2009)	ドイツ	30
村松 里衣子	大阪大学大学院医学系 研究科 附属子どものこころの分子統御機構研究センター 疾患関連分子解析部門	特任 助教	Neuroscience2009	アメリカ イリノイ州	25
谷田部 淳一	福島県立医科大学医学部 腎臓高血圧・糖尿病 内分泌代謝内科学講座	博士 研究員	Renal Week 2009, 42nd Annual Meeting & Scientific Exposition	アメリカ カリフォル ニア州	20
山田 真吏奈	慶應義塾大学医学部 解剖学	特別 研究 助教	Neuroscience 2009	アメリカ イリノイ州	25
山本 伸一郎	京都大学大学院 薬学 研究科 生体分子認識 学分野	助教	Biophysical Society 54th Annual Meeting	アメリカ カルフォル ニア	20
渡部 裕	新潟大学 医学部第一 内科循環器部門	特任 助教	American Heart Association Scientific Sessions 2009	アメリカ フロリダ州	25

(3) 第20回(2009年度)学会等開催助成

下記の10件の学会に対して助成を実施した。助成金額は1件20万円とし、合計200万円を助成した。

会議名	申請者	開催期間	開催場所
第9回日本蛋白質科学会年会	熊本大学 山縣ゆり子	2009年 5月20日～22日	熊本
第1回エコロジカルボラタイル 国際シンポジウム	山口大学 松井健二	2009年 7月3日～4日	東京大学
第19回日本樹状細胞研究会	国立がんセンター 高上洋一	2009年 7月9日～11日	兵庫
第29回札幌がんセミナー 国際シンポジウム 「ピロリ菌と胃がん」	北海道大学 畠山昌則	2009年 7月13日～14日	北海道大学
2009年度日本放線菌学会大会	秋田県立大学 小嶋郁夫	2009年 7月16日～17日	秋田
国際シンポジウム福岡 プリン2009：創薬 シーズ探索の新戦略	九州大学 井上和秀	2009年 7月23日～25日	福岡
第14回国際生物無機化学会議	名古屋大学 渡辺芳人	2009年 7月25日～30日	名古屋
第5回オートファジーに 関する国際会議	京都大学 阪井康能	2009年 9月24日～28日	滋賀
第6回先端医科学 国際シンポジウム	自治医科大学 小澤敬也	2009年 11月7日	栃木
第11回国際有機化学京都会議	京都大学 吉田潤一	2009年 11月9日～13日	京都

3. 財団20周年記念誌「20年のあゆみ」及び平成20年度年報発行

財団20周年記念誌「20年のあゆみ」及び平成20年度年報を10月1日付で発行した。歴代財団関係者（理事・監事・評議員・選考委員・助成者・職員等）、研究機関、主務官庁、図書館、出捐会社関係者等に贈呈した。記念誌は電子化して財団ホームページに掲載した。

(1) 記念誌

- ・ 内容：理事長挨拶、加藤辨三郎・加藤幹夫氏略歴、財団設立の経緯と事業の変遷、寄稿文、記念式典挨拶・祝辞、記念講演会、資料編、等
- ・ 送付数：約1,030冊
- ・ 費用：274万円
- ・

(2) 年報

- ・ 内容：理事長挨拶、平成20年度事業報告、平成21年度事業計画、第18回研究助成報告、第20回国際交流助成報告、等
- ・ 送付数：約250冊
- ・ 費用：30万円

4. 第21回研究助成贈呈式

第21回研究助成贈呈式を平成22年3月5日(金)15時から東京竹橋の如水会館にて行なった。理事長挨拶の後、指定研究助成を含む全25名(2名代理出席)に対して助成金目録及び記念の盾が理事長から贈呈された。その後、来賓の文部科学省研究振興局ライフサイエンス課石井康彦課長および協和発酵キリン株式会社松田譲社長より祝辞を頂いた。

引き続き、自治医科大学・間野博行教授、東北大学・中山亨教授による特別講演が行なわれた。

式典終了後、懇親会場に移動してポスターセッション形式の研究計画発表会を行った。初めての試みであったが助成者同士、助成者と参加者の間で活発な意見交換が行なわれた。30分後に祝賀会に移行し、森理事の乾杯の発声に続き歓談が続いた。一方でポスターを前にした研究意見交換は祝賀会が終了するまで続いた。参加者は助成受領者を含めて約90名であった。(費用 323万円)